

平成30年 建設業死亡災害事例

No.	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
1	1月	建築工事業	電工	交通事故（道路） 乗用車、バス、バイク	被災者は、建設工事現場から車で帰社途中、前方車からの落下物を避けようとして車が横転し、前方車に衝突した。
			60歳代		
			30年以上		
2	1月	建築工事業	とび工	はさまれ、巻き込まれ 移動式クレーン	RC造新築工事で、被災者が作業構台の端から地下階の状況を確認していたところ、旋回した移動式クレーンと作業構台の手すりの間に挟まれた。
			30歳代		
			1年以上5年未満		
3	2月	建築工事業	塗装工	墜落、転落 足場	被災者は、3階建の建物の外壁補修工事で、外部足場と建物躯体に足を乗せて既存の外壁コーキング材の撤去作業を行っていたところ、約2メートルの高さから墜落した。
			60歳代		
			30年以上		
4	3月	建築工事業	土工	墜落、転落 開口部	オフィスビル新築工事現場で、内階段のコンクリート打設作業を行っていた被災者が、4階開口部から約10メートル下の地上まで墜落した。
			60歳代		
			30年以上		
5	5月	その他の建設業	作業員・技能者	激突され トラック	被災者は、外国に係留中の貨物船内において、コンテナ内の温度管理業務中、コンテナ受け木の整理のためにかがんで作業を行っていたところ、後退してきたトレーラーと船内の柱との間にはさまれた。
			30歳代		
			1年以上5年未満		
6	6月	建築工事業	とび工	墜落、転落 足場	被災者は、木造家屋新築工事に伴う先行足場の組立作業において、最上段の手すりを取付けるため、その下の手すりに足を乗せて取り付け作業を行った後、当該箇所から墜落した。
			20歳代		
			5年以上10年未満		
7	6月	建築工事業	解体工	飛来、落下 その他の仮設物、建築物、構築物等	被災者は、解体現場でのダクトの撤去作業を行っていたところ、当該ダクトが落下し、被災者の頭部に激突した。
			30歳代		
			1年以上5年未満		
8	6月	建築工事業	とび工	飛来、落下 フォークリフト	被災者は、トラック荷台より鉄骨部材を降ろす作業中、荷台の反対側で作業していた別の労働者が、フォークリフトの爪を荷台の鉄骨部材の下に入れ、降ろそうとした際、被災者の方に鉄骨部材が倒れ、下敷きとなった。
			20歳代		
			5年以上10年未満		
9	6月	建築工事業	その他の職種	高温・低温の物との接触 高温・低温環境	被災者は、木造家屋建築現場において、工場より搬送されてきた建築資材の荷揚げ作業を行っていたところ、熱中症になった。
			20歳代		
			1年未満		
10	7月	その他の建設業	現場職員	火災 ガス溶接装置	被災者は、ビル建設現場において工事作業をしていたところ、建物地下で鋼材の溶断作業時に下階に施工されたウレタン系断熱材に引火したとみられる火災に巻き込まれた。
			40歳代		
			20年以上30年未満		

	月	業種	職種	事故の型	発生状況の概要
			年齢	起因物	
			経験		
11	7月	その他の建設業	電工	火災	被災者は、ビル建設現場において工事作業をしていたところ、建物地下で鋼材の溶断作業時に下階に施工されたウレタン系断熱材に引火したとみられる火災に巻き込まれた。
			60歳代		
			30年以上		
12	7月	建築工事業	作業者・技能者	墜落、転落	被災者は、ビル新築工事における土止め用H鋼の切断作業中、地上1階から地下1階に通じるドライエリア下へ墜落した。
			70歳代		
			30年以上		
13	8月	土木工事業	分類不能	交通事故（道路）	被災者は、都外のメンテナンス会社に仮置きしている自社の杭打機を運送会社のトラックに積み込む作業を行った後、自家用車を運転し自宅に帰る途中、信号待ちをしていたトラックに追突した。
			30歳代		
			10年以上20年未満		
14	8月	建築工事業	軽作業者	崩壊、倒壊	被災者は、波止場にあるコンテナからトラックへ建築資材を運ぶ作業中、資材が倒れ、挟まれた。
			70歳代		
			30年以上		
15	8月	建築工事業	土工	高温・低温の物との接触	被災者は、空き家の残置物の撤去作業中、熱中症になった。
			50歳代		
			1年以上5年未満		
16	10月	建築工事業	作業者・技能者	墜落、転落	被災者は、既設の外部階段を使用し、屋上から荷物の運び出し作業を行っていたところ、当該階段の踏板が抜け、地上まで墜落した。
			40歳代		
			1年以上5年未満		
17	10月	その他の建設業	作業者・技能者	墜落、転落	被災者は、工場の屋根補修工事の作業中、スレート屋根を踏み抜き地上に墜落した。
			70歳代		
			30年以上		
18	10月	土木工事業	防水工	交通事故（道路）	被災者は、首都高速道路の高欄等の改修工事の塗装の仕上げ作業中、右車線を走行中のタクシーが右側壁に激突し、その反動で工事の規制帯である左車線に侵入し、衝突された。
			30歳代		
			10年以上20年未満		

本表の災害は、東京労働局管内の事業場で発生した平成30年建設業の死亡災害です。（ただし、脳・心臓疾患及び精神障害は除く。）